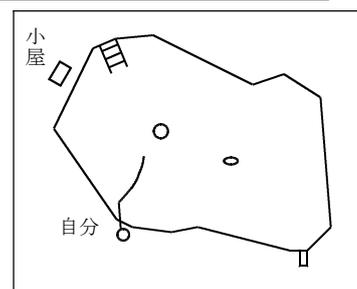


【料金】 男性午後 ¥3,300のところ¥1,300(ポイントが貯まり¥2,000引き)

【様子】

- 晴れ。水面が波立つこともあれば、鏡になることもあった。茶色っぽく濁っている。濁りはかなりきつい。
- 月曜日は放流、餌撒き共になし。



12時10分～2時20分

22尾

- マスは表層で少し動いている。サイズも少しある。しかし、活性が高いとは思えない。
- とりあえず、トップから始めた。パイロトルアーを1～2投投げて反応を見た。反応はあるものの掛からない。

トップのパイロトルアー

- ・ミツドライ 透明 / デカミツドライ ラトル 透明
- ・サーフェスエアブローF カモフラペレットオールスターズ
- トイッチ&止め / シェイク

- 表層を試した。

表層のパイロトルアー

色:ミドビィーノ、茶系

- ・プチモカSR(SS)ミドビィーノ
- ・モカSR(SS)ミドビィーノ
- ・モカDR(SS)ミルクココア
- ・ちびパニクラDR-SS タッキーブラウン

- 掛からない。ダメ。周りが釣れているので焦ってくる。
- もっと深いところを試すことにした。ちびパニクラDR-SSタッキーブラウンをなんとなく潜らせて、ゆっくり巻いてきたらヒット(&ゲット)した。深いところにいることが分かった。
- ・ちびパニクラDR-SSタッキーブラウン 1～2尾
- ヒットパターンを確立すべきと考えた。茶系がよいことから、モカDR(SS)ミルクココアを選んで、とりあえずカウント10まで沈めて釣ってみた。これが良かった。他の色も試した。
- ・モカDR(SS)ミルクココア カウント10 2～3尾
- ・モカDR(SS)スージーグロー(レッドグロー) カウント10 2～3尾
- カウント10まで沈めて、ゆっくり泳がせれば釣れるなら、モカSR(SS)でも釣れるはずである。これも良かった。
- ・モカSR(SS)ミドビィーノ カウント10 2～3尾
- ・モカSR(SS)オラオラオレンジ カウント10 2～3尾
- 深いところにいるのなら、ボトムがよいかもしれないと考え、ボトムダンスをした。
- ・ペンタ2 1.7g 濃茶 ボトムダンス 1尾
- ・ペンタ2 1.7g チャートグロー ボトムダンス 6尾 (後半1尾 合計7尾)
- DSベビーバイブを試した。
- ・DSベビーバイブ フルブラウン リフト&フォール 3尾

○フォールの時に掛かっているのだろうか、リフトすると、すぐに掛かっていることがわかる。

宙層での釣り方

○宙層での釣り方が確立できた。

○カウントして釣る層を決める。その後、ゆっくりリトリブする。
ルアーが水平に泳ぐことをイメージして、ゆっくりリトリブする。

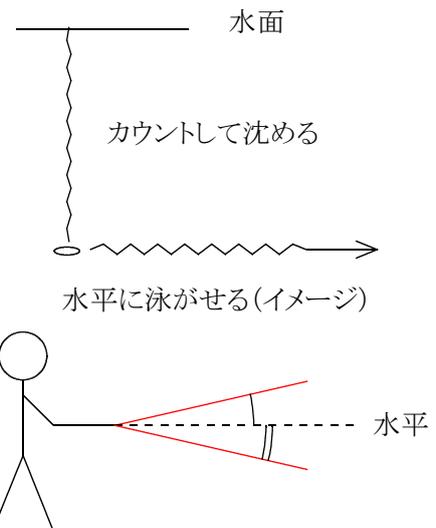
○モカDR(SS)の場合

ルアーが潜ることから、竿や水平よりやや上、竿先は顔の高さよりやや下にする。

○モカSR(SS)の場合

ルアーがあまり潜らないことから、竿は水平よりやや下にする。

※竿の上向き、下向きは水平を基準にしてほぼ線対称である。



○沖で釣れるためか、やや型が大きい。よく引く。

○もっと他の色も試すべきだった。

○深いところにいるのならと、ミワクラを選んだ。竿先は下向き、5回巻いて潜らせる(やや速めに巻く)。その後、水平に泳ぐように竿先は上向きでゆっくりリトリブした。

・ミワクラ セクシーピンク 5回巻いて潜らせてから、水平に泳がせる 1~2尾

○モカ(SS)のカウント10やミワクラの5回巻きがどれくらいの深さになるのかは不明である。とにかく、結果として釣れたということ。

○2時20分までに22尾釣った。今日は上出来である。休憩タイムとした。

放流タイム(2時20分) 放流なし ~ 納竿(5時30分) 28尾

○ミドビィーノ風にマニキュアで色を塗ったルアーを試すことにした。表層やや下をゆっくりリトリブした。

・elfin グラスホッパー ピンク 前部を薄緑色に塗った 2尾

・ちびとろ ビターショコラ 前部を薄緑色に、後部をピンク色に塗った 2尾

※グラスホッパーの方が大きく動く

○表層やや下で釣れたということは、マスが上ずってきたか。

○釣り座からすぐ左側で盛んにライズが見られる。そこへマイクロ Spoon を投げることにした。

・NOAjr 0.6g 濃茶 表層 1~2尾

・ジギル Jr 0.7g 灰緑に茶色散らし 表層 1~2尾

・チェイサー 0.6g マロン 表層 1~2尾

4時30分 赤金タイム

○午後4時30分頃、PURE 1.5g 赤金で1~2尾拾えると教えてもらったことがある。

○PURE1.5g 赤金 3投投げたが、1投目に当たりがあったのみ。

○ライズが増えてきた。マスボールもときどきできたり、消えたりしている。トップのチャンスである。

・ミツドライ クリア トップ 数尾

・デカミツドライ ラトル クリア トップ 数尾

・マイクロクラッピー SR クロコ トップ 1~2尾

○当たらなくなったので、表層をミドビィーノで試す。ゆっくりリトリブした。

・プチモカSR(SS)ミドビィーノ 表層 数尾

・プチモカSR(SS)イレーションペレット 表層 数尾

5時00分 (餌撒きなし)

○納竿時間が迫ってきた。あと2尾で50尾となる。プチモカSR(SS)ミドビィーノ、モカSR(SS)オラオラオレンジに掛かるが、ばれてしまう。今更、鉤の交換は時間の無駄である。

○プチモカSR(SS)ミルクココア 竿先を水面まで近づけて、ゆっくりリトリブした。ヒット(&ゲット) やっと2尾釣れた。

・プチモカSR(SS)ミルクココア 表層 2尾

○今日は、午後から入って50尾であった。自己最高記録である。

○サンクチュアリに初めて来た頃は、一日やって、2~3尾だったことが思い出される。

納竿 (5時30分)

※一日を振り返ってみると、釣り初めの「トップ」「表層」の見切りをもっと早くするべきであった。

※釣れているのにネットイン直前でばらしてしまうことが数回あった。改めて、ヒットからネットインまでを振り返ってみた。(私はルアーは右手で投げている。竿を左手に持ち替えて、右手で巻いている。)

魚が掛かかればリールを巻いて魚を引き寄せせる。ある程度、魚を引き寄せたら、しゃがんでリールを巻く。魚を竿先まで寄せたら、竿を右手の持ち替える。このとき、竿はバットの部分を持つ。すぐに左手でネットを持つ。自分のネットは重いので、ネットのグリップを持つのではなく、グリップより前の所を持つ。これによりネットが持ちやすくなる。竿を後ろに引いて魚をネットに誘導する。魚がネットインしたら、魚を池に戻し、竿を左手に持ち替える。リリーサーが使えるように、手でラインを引き出す。リリーサーが使える長さまでラインを出したら、リリーサーで魚を外す。

ドラッグは手でラインが引き出せる強さにしておく。ラインを強く握って引っ張ったときにラインが出るという状態がよいと思う。ラインを強く引っ張ったときにラインが出るのではなく、ラインを強く握って普通に引っ張ったときにラインが出る状態である。「普通に引っ張る」とは、強く引くのではなく、軽く引くのもない力加減で引っ張る。私にはこの状態が一番いい。